

2017.12.23

鹿児島県出水市・出水干拓のカナダヅル、クロヅル、マナヅル

カナダヅル (カナダ鶴)
ツル科 L=95cm

マナヅル (真鶴)
ツル科 L=127cm

クロヅル (黒鶴)
ツル科 L=114cm

マナヅル (真鶴)
ツル科 L=127cm

8:56

東干拓のツル監視所

ツル渡来数
15,360羽
11月25日現在

特定地域鳥獣保護管理事業所 東干拓
ツル監視所
出水市



ヘラサギ (篋鷺)
トキ科 L=86cm



ダイサギ (大鷺)
サギ科 L=90cm





ヘラサギ（篋鷺） トキ科 L=86cm



タゲリ（田鳧） チドリ科 L=32cm



ナベヅル（鍋鶴）ツル科 L=100cm

カルガモ（軽鴨）
ガンカモ科 L=61cm



クロヅル（黒鶴）
ツル科 L=114cm



カナダヅル (カナダ鶴) →
ツル科 L=95cm

↑
カナダヅル (カナダ鶴)
ツル科 L=95cm

マナヅル (真鶴) →
ツル科 L=127cm



カナダヅル (カナダ鶴)
ヅル科 *Cygnus*



カナダヅル (カナダ鶴)
ツル科 L=95cm



カナダヅル (カナダ鶴)
ツル科 L=95cm

マナヅル (真鶴)
ツル科 L=127cm

ミヤマガラス (深山鳥)
カラス科 L=47cm



9:33 新ツル見亭民宿



ミヤマガラス (深山鳥)
カラス科 L=47cm



ミヤマガラス (深山鳥)
カラス科 L=47cm

9:39
出水市ツル観察センター



9:39
出水市ツル観察センター



9:40
出水市ツル
観察センター



只今の飛来数

総数 15360 羽

● マナヅル	<input type="text" value=""/>	羽	● ナベヅル	<input type="text" value=""/>	羽
● カナダヅル	<input type="text" value="7"/>	羽	● クロヅル	<input type="text" value="9"/>	羽
● ソデグロヅル	<input type="text" value=""/>	羽	● アネハヅル	<input type="text" value=""/>	羽
● その他	<input type="text" value=""/>	羽	● ナベクロヅル(雑種)	<input type="text" value="5"/>	羽

9:41
出水市ツル観察センター



出水市ツル
観察センター



City, Kagoshima Crane Conservation Committee, local junior high school, continuously conducting various conservation works for the endangered and rare species in the area. Currently, the number of cranes coming to Izumi surpasses 10,000 per year.



Oriental Greenfinch
カワヒワ



Brambling
アトリ



Cinnamon Sparrow
ニュウナイスズメ



Thrush
ツグミ



Common Shelduck
ツクシガモ



Lapwing
タゲリ

出水の代表的な鳥 Bird of Izumi

出水市代表性的鳥 이즈미시의 대표적인 새

出水平野は、全国的にも有数の野鳥の渡来地、越冬地であり、毎年ツルだけでなくたくさんの渡り鳥がやってきます。出水でこれまでに観察された野鳥は約300種にのぼり、日本国内で観察できる野鳥の約2分の1をここで観察することができます。

Many migratory birds come over to Izumi Plain together with cranes every year. Including migratory birds, approximately 300 species of wild birds have been observed in the Izumi. This is about half of the wild birds that could be seen all over Japan.

すぐそこに、感動がある。

目前に広がる出水平野に舞うツルの姿が、表情が、声が大自然の感動を誘います。



第1回ツルと武家屋敷群写真コンテスト「万羽鶴賞」受賞作品

出水市のツルについて

出水市のツルは、わが国で渡来羽数と種類の多いことで知られ、大正10年3月3日天然記念物保存法により、天然記念物及び禁猟区の指定を受け、更に昭和27年3月29日に「特別天然記念物鹿児島県のツルおよびその渡来地」として指定を受けている。その指定区域面積は約245ヘクタールである。

出水市荒崎地方がツルのねぐらとなったのは、島津藩による最初の干拓ができて数十年を経た元禄8年(1695年)のころといわれている。

昔は、九州にも数箇所の渡来地があったようだが、現在はここ出水市だけとなっている。ツルは、シベリア地方から中国を南下して韓国に渡り、さらに南下して杓岐を通り、長崎半島から八代海を通過して、当地に渡来してくるといわれている。天空を乱舞するツルの姿は雄大で、しかも神秘的で思わず息をのむシーンである。また、平成8年6月には、環境庁(現・環境省)の「残したい日本の音風景百選」にも選ばれている。

出水で見ることの出来るツル



マナヅル
鳥類の名前が示すとおり本当のツルという意味で名づけられたようです。



ナベヅル
頸の底についた煤(すす)のように黒い色をしているのでナベヅル(鍋鶴)と名づけられたようです。



クロヅル
個体全身が白い灰色をした中型のツルです。



カナダヅル
個体全身が灰色で頭頂部の赤色がポイント。生息数が世界で一番多いツルです。



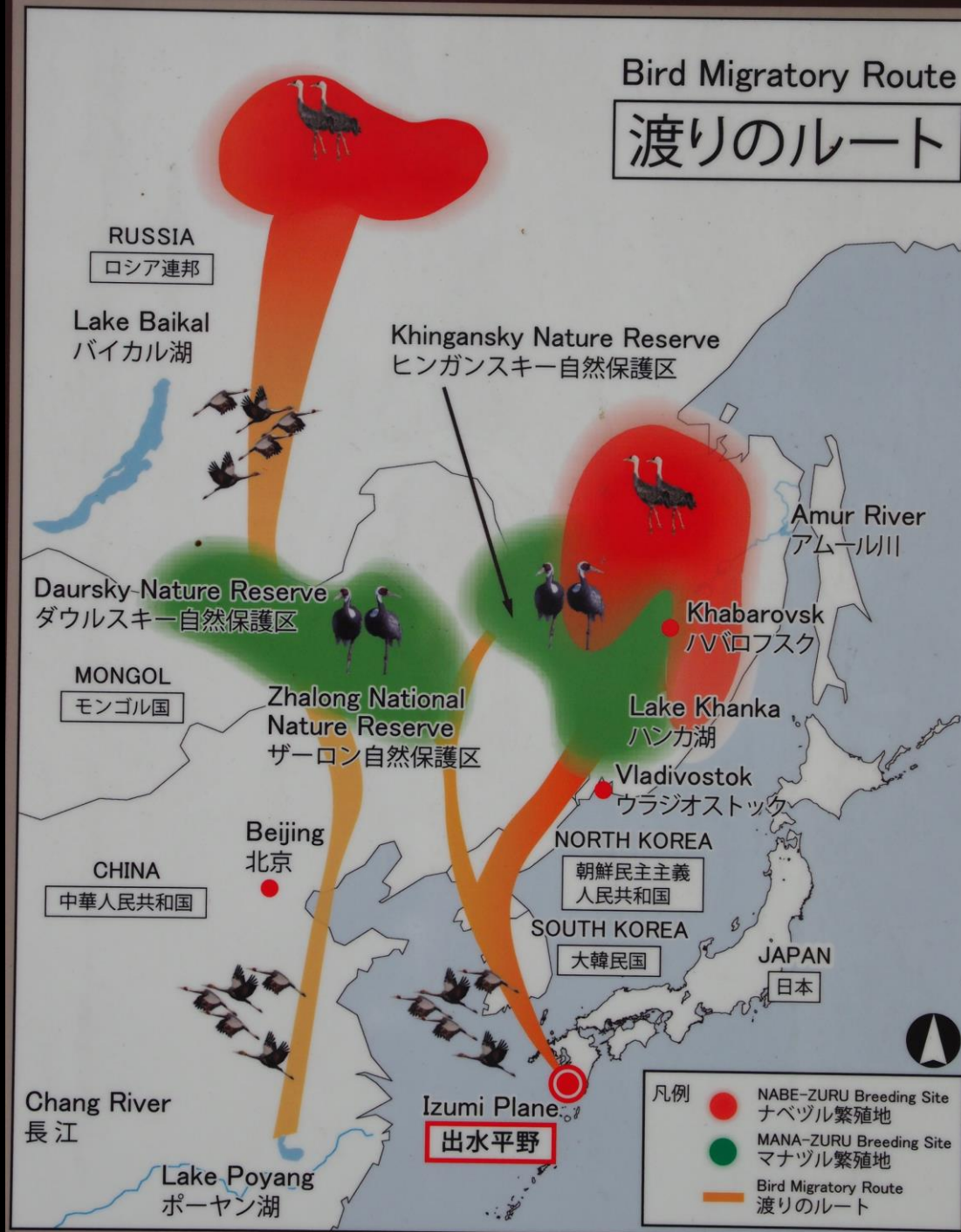
アネハヅル
ツルの仲間中最も小さな種で、頭の後ろの飾り羽が印象的。ヒマラヤ山脈を越えることで知られています。



ソテグロヅル
個体全身がほとんど白色で、翼を広げたときその先端が黒く見えることから名づけられたようです。



ナベクロヅル(左)
ナベヅルとクロヅルの雑種。1986年以後、出水平野で見られるようになりました。





クロヅル



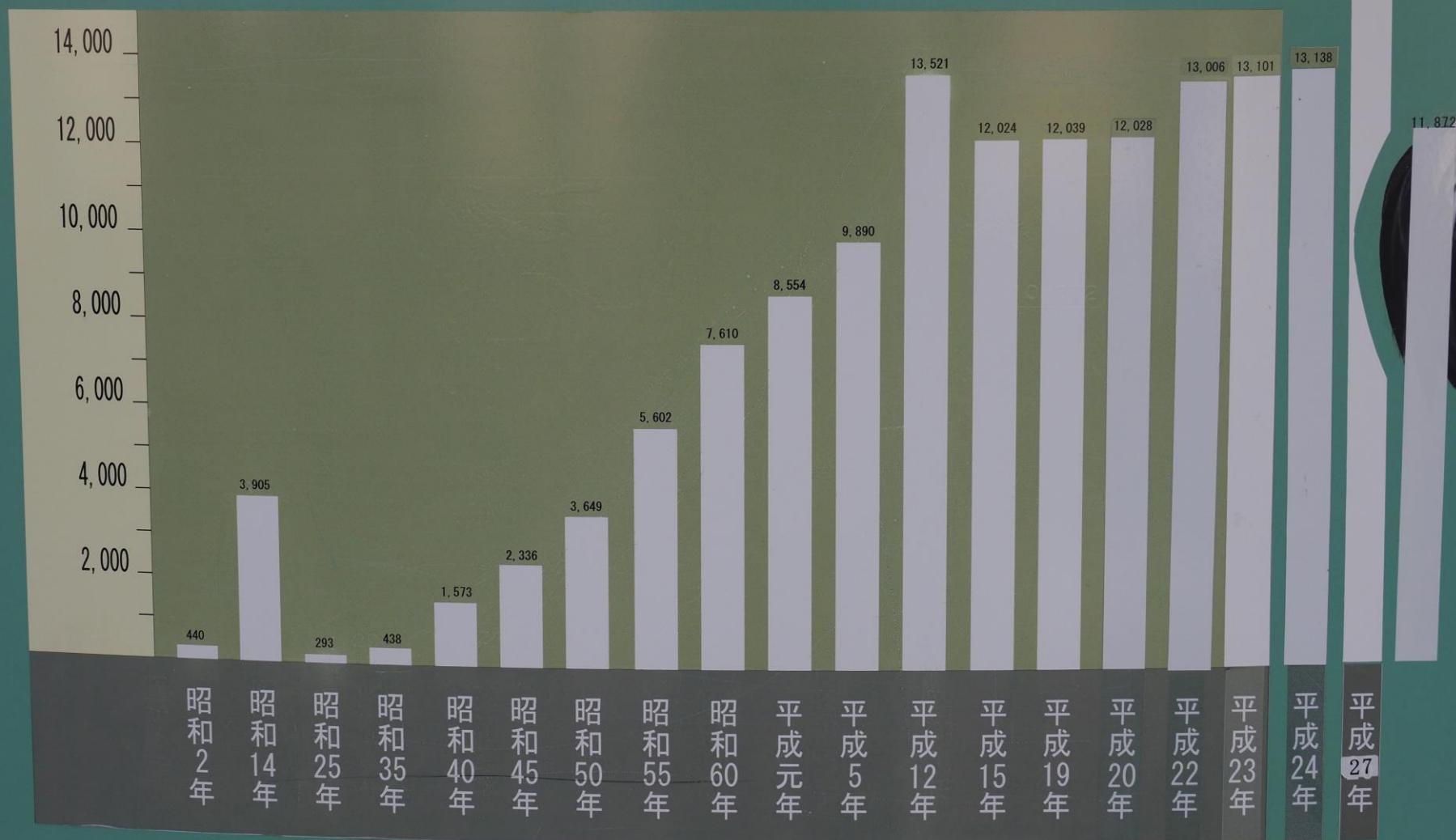
ナベヅル







るタンチョウは過去に数度渡来しただけです。



ツルの年代別渡来総数表



コウノ鳥飛来・佐藤敏治 (出水市)

平成 29 年 10 月 26 日撮影



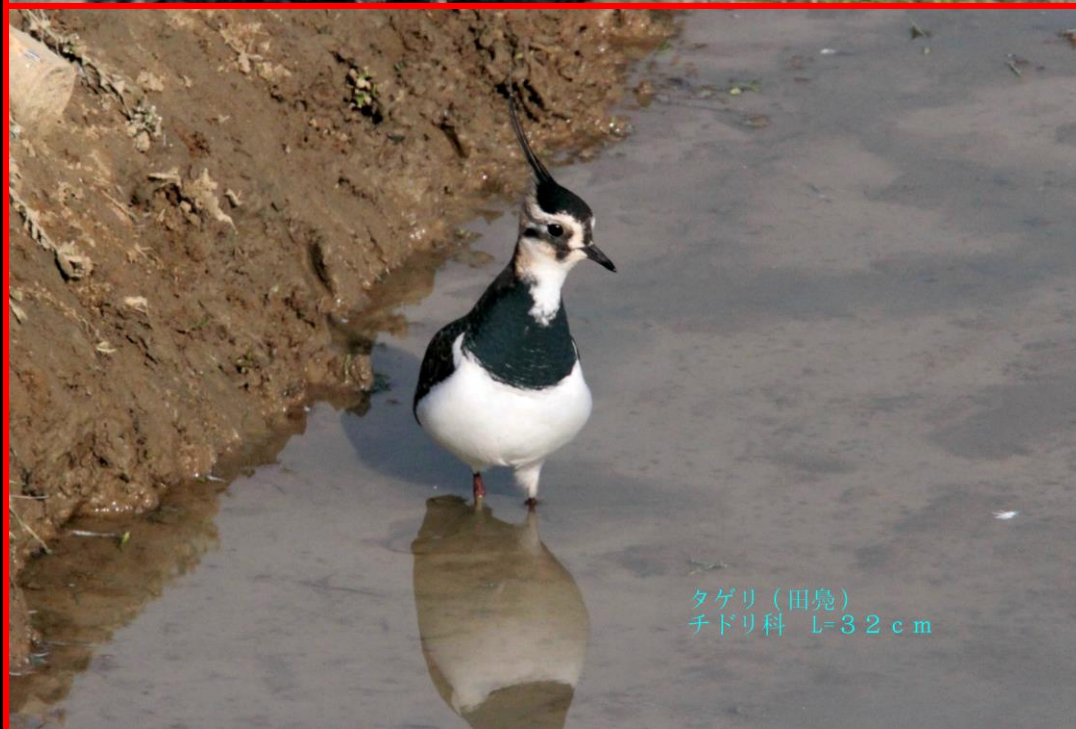
マナヅル（真鶴）ツル科 L=127cm



ナベヅル（鵜鶴）（若）
ツル科 L=100cm



マナヅル（真鶴）（若）
ツル科 L=127cm



タゲリ（田鳧）
チドリ科 L=32cm



マナヅル（真鶴）
ツル科 L=127cm



ナベヅル（鍋鶴）ツル科 L=100cm

マナヅル（真鶴）ツル科 L=127cm





マナヅル (真鶴)
ツル科 L=127cm



マナヅル (真鶴)
ツル科 L=127cm



ナベヅル (鍋鶴) ツル科 L=100cm



クロヅル（黒鶴）
ヅル科 L=114cm



ナベクロヅル
（ナベヅルと
クロヅルの交雑種）



オベクロヅル
(オベヅルとクロヅルの交雑種)

クロヅル (黒鶴)
ヅル科 L=114cm



クロヅル（黒鶴）
ツル科 L=114cm



ナベクロヅル
（ナベヅルとクロヅルの交雑種）





マナヅル（真鶴）ツル科 L=127cm



↑
カナダヅル（カナダ鶴）ツル科 L=95cm



ヘラサギ（篋鷺）
トキ科 L=86cm



